

第3学年 道徳科学習指導案

学習者 附属中学校 3年C組 40名

指導者 屋田 加菜

1 主題名 主として集団や社会との関わりに関すること

2 ねらいと教材

ルワンダの内戦で負傷した人々に義足を提供する吉田真美さんらの活動について、他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを自分のこととして話し合う活動を通して、他国の人々を尊重し、国際貢献に努めようとする実践意欲と態度を育てる。

教材名 「希望の義足」 出典「中学道徳③ きみがいちばんひかるとき」(光村図書)

内容項目 C-18〔国際理解、国際貢献〕

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について〔価値観〕

中学校の内容項目〔国際理解、国際貢献〕では、「世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること」を目標としている。現代社会は国際化が進み、生徒たちは将来、多様な文化や価値観をもつ人々と関わりながら生きていくことが求められている。中学校卒業後も、新たな環境や進路において、異なる背景を持つ人々との出会いは避けられず、さらには、国際社会に貢献する道を選ぶ生徒も出てくることが考えられる。

そのような状況において、相手の立場を尊重して考えようとする姿勢や、自分とは異なる文化や考え方を受け入れる柔軟さは、豊かな人間関係を築くために欠かせない。本授業では、教材を通して海外で活躍する日本人の姿や、異文化における出会いを取り上げ、国によっての違いがあっても、生徒が「相手を知ろうとすること」「分かり合うために努力すること」の価値を実感できるよう工夫する。さらに、後期に予定されているオンライン国際交流に向けて、海外の人々と対話する際の心構えを考えるきっかけとする。

(2) 生徒の実態〔生徒観〕

本学級は、日頃からニュースや社会の動きに関心が高く、諸外国の文化や歴史についても積極的に学ぼうとする姿が見られる。社会の授業では世界の歴史や国際情勢に興味を示す生徒も多く、英語の授業以外でもALTとのコミュニケーションにも前向きに取り組むなどの様子がある。一方で、「国際理解」や「国際貢献」といった言葉に対しては、どこか特別な人や限られた機会に関わるものであると捉えており、世界の出来事や他国の人々の生活を自分とのつながりとして実感するまでには至っていない生徒も少なくない。また、日常生活の中では、仲間を思いやったり、誰かのために行動したりする大切さを理解しているが、呼びかけに反応せず自分の都合を優先させたり、相手の気持ちを想像できず人の話を最後まで聞かずに行動しだす場面も見受けられる。

このような課題に対して、「相手を理解しようとすること」「共に生きようとする姿勢」が、国際協力や国際協調、ひいては世界の平和や人類の発展へとつながっていくことを気づかせたい。さらに、国や文化の違いを超えて、日本人が世界で信頼され、誰かのために尽力する姿に気づけるように、様々な視点から多面的・多角的に考える学習活動を構想していきたい。

(3) 教材について〔教材観・指導観〕

ルワンダ内戦で負傷した人々に対し、義肢装具の支援活動を行っている吉田真美さんの実践を通して、「本当の国際貢献とは何か」を考える内容である。吉田さんは、日本全国から寄付を募って現地に義肢工房を設立し、義肢を届ける活動を行うなかで、無意識のうちに「施す側」という立場になっていたことに気づき、そのあり方を深く見つめ直すこととなる。そして、本当の支援を考えるようになり、ルワンダ人がパラリンピック出場を後押しする活動へと行動を広げていく。

本教材は、支援活動の過程における葛藤や、自身の内面と向き合う吉田さんの姿を通して、他者のために行動するとはどういうことか、相手の立場に立つとはどういうことかを多面的に考えさせることができる教材である。特に、支援活動が「善意」だけで成立するものではなく、相手の声を聴き、対等な関係の中でこそ成り立つという気づきは、生徒にとって大きな価値となる。また、本学級の課題に対して、生徒たちが相手の立場や状況・気持ち・背景や学級の状況を想像していく力を身につけさせたい。日本人が世界で信頼され、誰かのために尽力する姿を知ることによって、「世界の中の日本人」としての自覚や、将来の国際社会とのかかわりに向けた心構えを育てることもできるだろう。

4 本時の学習指導過程

時間	生徒の活動	指導○ 留意点・ 手だて※	準備物
5		<p>○今までの経験についての確認をする。</p> <p>発問①◆誰かのためになにかをやってみよう/やってみた経験はある？</p> <p>・家族、友達、先生、地域の人、日本人、世界の人と対象を与えておく。</p> <p>○本時で学習することは何かを確認する。</p>	
めあて 他国の人と関わるうえで、大切にすべきことは何だろう。			
10	ルワンダの現状や吉田さんの活動について知り、教材を確認する。	<p>○ルワンダの現状や吉田さんの実際の活動写真を簡単に紹介する。(ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクトや外務省など)</p> <p>○教科書を範読する。</p>	・スライド
25	吉田さんやルワンダの人々の想いについて話し合う。	<p>○吉田さんは活動を始めて一番良かったことに「わがままな障がい者の存在」を挙げていることを伝える。</p> <p>・良かったと感じることをいくつか生徒から挙げさせる。</p> <p>発問②◆吉田さんが「これでは嫌だ」といった患者の声に向き合ったのはなぜだろう。</p> <p>・「これでは嫌だ」といった理由を確認する。</p> <p>・吉田さんの心情について考えさせる。</p> <p>○ペアで考えを交流させ、発表させる。</p>	・ワークシート
<p>【想定される生徒の発言】</p> <p>・相手の立場に立つことの大切さを実感したきっかけとなったから。</p> <p>・自分の中にあった「これくらいいいや」という甘さに気づくことができたから。</p> <p>・わがままではなく、プライドだと感じたから。</p>			
		<p>○この出来事のあとに吉田さんがとった行動は「パラリンピックにルワンダの選手を出場」させたことを確認する。</p> <p>中心発問◆パラリンピックにルワンダ代表を出場させたことは、ルワンダの人のためになったのだろうか。</p> <p>・吉田さんの行動について考えさせる。</p> <p>○ルワンダの人にとって良かったのか、座標軸に示させ理由を記入させる。</p> <p>・ルワンダ人の視点にたつよう声掛けする。</p> <p>○班でそれぞれの考えを比較・交流させる。</p> <p>・交流後は班のやりとりについて発表することを伝える。</p> <p>○作成した座標軸表を黒板に貼り、発表させる。</p>	
<p>【想定される生徒の発言】</p> <p>＜なっている＞・ルワンダ人が「復興できる」という明るい気持ちになれるから。・手足を失った人々を勇気づけられたから。</p> <p>・世界中の人々にルワンダを知ってもらえるチャンスになったから。</p> <p>＜なっていない＞・国際大会出場よりも義足がなくて今困っている人を助けるべきだから。</p> <p>・ルワンダの人の困りをもっと聞くとしてほしいことが別にあるかもしれないから。</p>			
		・ルワンダの人のためになったという意見しか出ない場合は、なっていない考えを問い、意見を広げていく。	
10	振り返りをする。	<p>○この1時間の授業を通して考えたことを振り返ることを伝える。</p> <p>○後期にはオンライン国際交流を実施することを伝える。</p> <p>発問③◆今日の意見交流を踏まえて、外国の方と関わるうえで、大切にしたいと思うことを考えよう。</p>	・まなびの記録

5 評価

【評価の着眼点】

国際理解・国際貢献を行うために大切なことについて、＜支援する側＞＜支援を受ける側＞等の様々な視点から、考えたり話し合ったりしているかどうか。

【評価方法】

- 授業中の発言や話し合いの様子から把握する。
- ワークシートの内容から把握する。

【具体的な生徒の姿】（振り返りの内容例）

- ・吉田さんのように、誰かのために行動できる人になりたいと思った。交流では、人の気持ちを尊重する行動を大切にしたいと感じた。（自己を見つめる記述）
- ・支援する側はこれでいいと思っても、受け取る側には多様な考え方があることが分かった。吉田さんの行動から、本当に必要としているものを届けることの大切さを学んだ。（物事を広い視野から多面的・多角的に考えた記述）
- ・本当の国際貢献とは、ただ助けることではなく相手を知り、声に耳を傾け尊重することだと学んだ。（道徳的価値についての理解についての記述）
- ・相手を支えるためには独りよがりにならず、互いに認め合っていくことが大切だと感じたので、国際交流だけでなく、これから日常でも人との関わりを大切にしたい。（人間としての生き方についての考えを深めることについての記述）

6 その他

板書計画

希望の義足

めあて 他国の人と関わるうえで、大切にすべきことは何だろう。

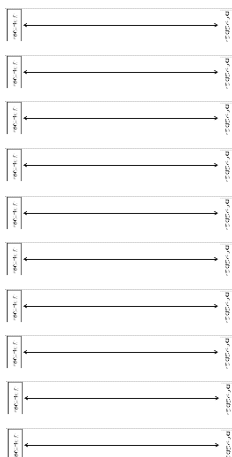
②吉田さんが一番良かったこと：
「わがままな障がい者の存在」
→なぜ向き合えた？

- ・自分の中にあった「これくらいでいいや」という甘さに気づくことができたから
- ・相手の立場に立つことの大切さに気付けたから
- ・わがままではなく、プライドだと感じたから

↓

“パラリンピックに
ルワンダ代表を送る”

③吉田さんが進めたパラリンピック出場は、ルワンダ人のためになっている？



〈なっている〉

- ・ルワンダ人が明るい気持ちになれるから
- ・手足を失った人が勇気づけられたから
- ・世界にルワンダをアピールできる

〈なっていない〉

- ・義足支援を優先すべき
- ・別の困りがあったかも

振り返り 外国の方と関わるうえで大切にすべきこと

1. 誰かのためになにかをやってみよう/やってみた経験はありますか？

誰に(家族 ・ 友達 ・ 先生 ・ 地域の人 ・ 日本人 ・ 世界の人 ・ その他())

何を

2. できた義足に対して「これでは嫌だ」といった患者。

3. シドニーパラリンピックにルワンダ代表を送るということ。

な
っ
て
い
る

な
っ
て
い
な
い

そう考えた理由